

4. その他

- (1) 同位元素研究発表会の論文募集要領および共催分担金について 例年どおり協力する。
- (2) 理科年表の原稿について「天気」編集委員会で検討し原案を出してもらう。
- (3) 第7回(昭和55年度)日産学術研究助成候補者の推薦について 当学会員望月定氏ほかの共同研

究による「自然環境に放出された汚染微粒子(サブミクロン, エアゾル)の滞留時間粒径分布変化・物質組成変化に関する研究」を推薦することとした。

- (4) 「教育と普及」の委員に電子計算室の杉正人氏を追加することを了承した。

その他 藤田郁夫ほか6名の新入会員を承認。

月例会「長期予報と大気大循環」のプログラム

日時 昭和56年3月11日(水) 13.30~16.00

会場 気象庁予報部会議室

発表題目

1. インドにおける夏季モンスーンについて
迎 正秋(気象庁統計課)
2. 1980年冷夏の循環場の特徴
荒井 康(気象庁長期予報課)
3. 海況からみた1980年夏の500mbの循環場について

関根勇八(気象庁海上気象課)

4. 日本の冷夏・寒冬の原因とその予測
須田滝雄(岐阜大学農学部)
5. 気象研の大循環モデル(MRI・GCM)の現状について
時岡達志, 山崎孝治, 谷貝 勇, 鬼頭昭雄(気象研究所)